

(2) 令和3年度月別の気象概況

4月	<p>上旬：低気圧と高気圧が交互に通過し、数日の周期で天気に変化した。気温の変動が大きく、前半は気温がかなり高い日が続いたが、後半は北から寒気が流れ込んだため気温の低い日があった。寒気の影響で雷雨となった日もあった。</p> <p>中旬：低気圧と高気圧が交互に通過し、数日の周期で天気に変化した。17日は低気圧の影響で大雨となった。</p> <p>下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の終わりに低気圧や前線の影響で雨になった。</p>
5月	<p>上旬：高気圧に覆われ晴れの日が多くなったが、低気圧や前線の影響で雨や曇りの日もあった。</p> <p>中旬：前線や湿った空気の栄養で曇りや雨の日が多くなった。</p> <p>下旬：高気圧に覆われ晴れの日もあったが、低気圧や曇った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。</p>
6月	<p>上旬：期間の中頃までは低気圧や前線の影響で曇りや雨の日があったが、期間の終わりは高気圧に覆われ、概ね晴れて気温が高くなった。</p> <p>中旬：高気圧と低気圧が交互に通過したため、数日周期で天気に変化した。なお関東甲信地方は6月14日頃に梅雨入りしたと見られる（速報値）。</p> <p>下旬：梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。</p>
7月	<p>上旬：本州付近に梅雨前線が停滞し湿った空気が流れ込み続けたため、ほぼ期間を通して曇りや雨の日が続き、特に1日から2日にかけては大雨となった。10日は晴れたが大気の状態が不安定となり夜には雷雨となった。</p> <p>中旬：梅雨前線の影響で前半は曇りや雨の日が多くなったが、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。なお関東甲信地方は7月16日ごろに梅雨明けしたと見られる（速報値）。</p> <p>下旬：前半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。後半は台風や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、大雨の日もあった。</p>
8月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、湿った空気や上空の寒気の影響で曇りや雨の日もあった。また期間末は台風第10号や台風第9号から変わった温帯低気圧の影響で大雨となった。</p> <p>中旬：前線や低気圧の影響で雨の日が多く、大雨となった日もあったが、期間の終わりは高気圧に覆われて晴れた。</p> <p>下旬：前半は高気圧の縁を回る湿った空気が流れ込んだため曇りの日が多く、雨や雷雨となった日もあった。後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、31日は前線や上空の寒気の影響で雷雨となった。</p>
9月	<p>上旬：前線や低気圧の影響で雨や曇りとなった。気温が平年よりもかなり低い日が続き、4日から7日にかけて低温注意報が発表された。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあった。特に18日は台風第14号と前線の影響で大雨となった。</p> <p>下旬：移動性高気圧に覆われ晴れの日が多くなったが、気圧の谷や湿った空気の影響で雨の日もあった。</p>
10月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、湿った空気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあった。特に1日は台風第16号の影響で大雨となった。</p> <p>中旬：低気圧や前線と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変化した。期間の中ごろまでは暖かい空気に覆われたが、期間の終わりは寒気の影響を受け、気温の変動が大きくなった。</p> <p>下旬：低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変化した。</p>

11月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間のはじめと終わりは曇りや雨となる日があった。特に、9日は低気圧や前線の影響で大雨となった。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。</p> <p>下旬：冬型の気圧配置により晴れの日が多くなったが、期間のはじめと終わりは前線や湿った空気の影響で雨の日もあった。</p>
12月	<p>上旬：期間の前半は1日に寒冷前線の通過で大雨となった後は冬型の気圧配置となり概ね晴れた。期間の後半は気圧の谷や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。</p> <p>中旬：低気圧や前線と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変化した。</p> <p>下旬：期間の中頃に低気圧や寒気の影響で雨や雪の日があったほかは、冬型の気圧配置や高気圧に覆われて概ね晴れた。期間の後半は強い寒気が流れ込んだため気温のかなり低い日があった。</p>
1月	<p>上旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われ概ね晴れたが、6日は低気圧の影響で雪となり、東京では最深積雪10cmを観測した。</p> <p>中旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われ晴れの日が多くなったが、前線や低気圧の影響で雨やみぞれの日もあった。</p> <p>下旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われ晴れた日が多くなったが、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日もあった。</p>
2月	<p>上旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われ概ね晴れたが、10日は低気圧の影響で雪や雨となった。</p> <p>中旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われ晴れの日が多くなったが、13日から14日にかけてと19日から20日にかけては低気圧の影響で雨やみぞれとなった。</p> <p>下旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。</p>
3月	<p>上旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日もあった。5日には関東地方で「春一番」を記録した。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、期間の終わりには低気圧や上空の寒気の影響で大雨や雷雨となる日もあった。気温の変動が大きく、期間の中頃まではかなり高い日が多くなったが、期間の終わりにはかなり低い日もあった。20日には東京で桜の開花を観測した。</p> <p>下旬：低気圧と高気圧が交互に通過したため数日の周期で変化した。27日には東京で桜の満開を観測した。</p>